東海道川崎宿を活かしたまちづくり支援業務委託仕様書

１　目的

本業務は、東海道川崎宿を活かしたまちづくりの推進の一環として、区民主体の取組を支援するものである。「東海道川崎宿起立４００年（２０２３年）に向けた基本的考え方―推進ロードマップ―」を踏まえた川崎宿起立４００年の取組成果をレガシーとし、令和７年３月に策定した「これからの東海道川崎宿を活かしたまちづくりワークショップの取組成果」及び「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」（平成３１年３月策定）に基づいて実施する。主な内容としては、ワークショップ参加者などが主体となり、「参加」「連携」「実現」「自走」できるよう支援を行うものである。受託者は、この仕様書及び契約書に基づき、監督員（川崎区役所地域振興課職員）の指示に従い業務を遂行する。

２　経緯

川崎区では、古くから東海道川崎宿の宿場町として栄え、豊かな歴史・文化資源を活かした、まちの賑わいと人々の交流や地域への愛着と誇りを育むまちづくりの推進をしている。これまで、川崎宿が起立して４００年となる２０２３年に向けて市民提案書「東海道川崎宿２０２３いきいき作戦（第壱巻平成１５年策定、第弐巻平成２３年策定」等を踏まえ地域活性化推進組織「東海道川崎宿２０２３」等との協働を行ってきた。

平成３１年には、川崎宿起立４００年へ向けた取組を本格化していくため「東海道川崎宿起立４００（２０２３）年に向けた基本的考えた方－推進ロードマップ－」を策定し、令和３年２月に「川崎宿起立４００年プロジェクト推進会議」を設立、令和５年に東海道沿道へ１２０基の中間灯を設置、東海道川崎宿場まつり、六郷の渡しまつり等様々な取組を行ってきた。

「東海道川崎宿２０２３」、「川崎宿起立４００年プロジェクト推進会議」は令和６年４・６月にそれぞれ解散、同年６月から令和７年２月までにかけて、これまでの取組を踏まえた東海道を含む川崎駅周辺エリア一体の賑わいづくりを目的としたまちづくりワークショップ（以下「ワークショップ」という。）を計５回開催した。

ワークショップでは、川崎のおおむね５年先のありたい姿を想像し、それぞれができることややりたいこと（以下「アクション」という。）等を取りまとめた「これからの東海道川崎宿を活かしたまちづくりワークショップ取組成果」を策定し、既に３つのアクション（コーヒーを利用した賑わい創出、まちなみの景観つくり、歴史を学ぶイベント開催）がプロジェクト化されている。またワークショップの取組成果において、アクションを進め、取組の共有を行っていく場として情報共有の場「以下、（交流会）という。」を継続開催していくことが確認されている。※・・・別紙「これからの東海道川崎宿を活かしたまちづくりワークショップ取組成果」を参照

３　業務内容

（１）東海道川崎宿を活かしたまちづくりに関する交流会の提案・開催

ア　交流会の提案

以下の項目を満たす交流会の運営方法について提案するものとする。

・お互いの取組や他団体等様々な情報共有ができる場

・つながりが増えることで共感しあえる仲間とやりたいことを実現することができる場

・アクション等の取組を支え合い、ゆるやかなつながりを持てる場

・誰でも気軽に参加でき熱く語れる場

イ　交流会の開催

３（１）アを踏まえ、以下の内容の交流会を開催するものとする。

（ア）参加者

ワークショップに参加した２０名程度を想定。ただし、ワークショップ参加者以外の随時参加も認めるものとする。

（イ）回数及び開催時期

令和７年７月から月１回程度開催をする。

（ウ）開催方法

対面開催とする。

（エ）開催場所

東海道かわさき宿交流館とし、発注者が用意するものとする。

（２）東海道川崎宿を活かしたまちづくりに関する広報の提案・実施

ア　広報の提案

以下の項目を満たす効果的な広報手法について提案するものとする。

・様々な世代に広く興味関心をひく、創意工夫がなされた広報

・将来的に交流会メンバーの主体的な情報発信につながるような広報手法

・複数の異なる広報媒体を組み合わせた手法による広報

・交流会の取組を周知し仲間を集める事を目的とした、各プロジェクトを含む東海道川崎宿に関連する取組の広報　※成果品については、３（２）イ（ウ）により制作するものとする。

イ　広報の実施

（ア）　SNS や HP による広報

川崎宿関連アカウント SNS（Instagram 及び Facebook）、川崎宿起立４００年記念サイト「ひねもす かわさき」の管理を行い、交流会、プロジェクトやアクションに関する情報、東海道かわさき宿交流館等の川崎宿関連やその周辺情報を月４回程度投稿し、記念サイトは月２回程度更新すること。

川崎宿起立４００年記念サイト　https://kawasakishuku400.jp/specialcontents/

（イ）　HP サーバー管理

（ア）の川崎宿起立４００年記念サイト「ひねもす かわさき」に関するサーバー、ドメインの維持管理を行う。サーバー使用料１３,２００円、ドメイン（kawasakishuku400.jp）使用権３,１０２円の支払い

を行い、手数料（３０，０００円）も負担すること。尚現在の契約は Xserver を通じて他業者が行っており、維持管理に伴う契約者変更等必要な対応も行うこと。

（ウ）紙媒体等による広報物の作成

交流会の取組を紹介する広報の成果品として次のもの、またはそれと同等品以上のものを作成すること。

規格：Ａ３両面、二つ折り

色　：カラー印刷

部数：１,０００部

（３）東海道川崎宿を活かしたまちづくりに関する相談支援の実施

ア　プロジェクト実現に向けたアクション支援

・プロジェクト実現に向けた必要な助言・伴走や人の紹介等を行うこと。

・必要に応じて各プロジェクトの打ち合わせに参加すること。(現時点で立ち上がっているプロジェクトを含む最大５つを想定)

・コミュニケ―ションは、必要に応じてメールや電話等業務遂行に必要な手段で行うものとする。

イ　助成金活用の支援

・プロジェクト実現のための助成金活用の必要な支援を行うこと。

・助成金は川崎区役所が行う以下の助成金又は、プロジェクトに適したものを提案することとする。

〇地域活動助成金

https://cautious-kookaburra-38b.notion.site/

〇いきいきかわさき区提案事業

https://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/page/0000133235.html

（４）新たな担い手を創出する手法の提案・実施

東海道川崎宿を活かしたまちづくりに関わる新たな担い手を発掘するため、川崎で働き・暮らす様々な人たちを対象に、ゆるやかなつながりを創出する手法を提案し実施する。

（５）今後の東海道川崎宿を活かしたまちづくり等に関する提言等

本事業を行う中で、改善点等に気づいた場合は、適宜報告する。また、次年度以降の本事業実施に向けて見直すべき点等について提言すること。

（６）東海道川崎宿を活かしたまちづくりに関する情報共有ミーティング

本業務実施にあたり円滑に遂行するため、本事業に関連する様々な情報共有を行うミーティングを発注者と随時行うこと。尚、原則対面とするがオンラインも可とする。

（7）報告

交流会の開催時には、簡易的な摘録を作成し発注者へ共有する事。また全ての取組を簡易的に取りまとめた報告書を業務履行期限までに発注者へ提出すること。

（8）その他

ア　著作権

チラシ等の成果物の著作権等は川崎市に帰属するものとする。また、市は、成果物の全てについて、業務に必要な範囲で改変し、又は二次利用する権利を有するものとする。

イ　不適合責任

業務完了検査の結果、成果物不適合が発見された場合は、受託者は、市の指定する期間内に修正を行い、再度検査を受けること。

ウ　その他

本仕様書に定めのない事項や不明な点がある場合は、都度川崎区役所地域振興課と協議の上決定することとする。

4　履行期間

契約日から令和８年３月３１日まで

5　履行場所

川崎区内及びその他必要な場所

●役割分担表

項目	内容	対応	
		受託者	発注者
（1）交流会の開催	参加者への通知・連絡 会議への参加	○	○ ※1
	会場の設営・撤収	○	
	会議の運営・摘録の作成	○	
（2）広報	SNS、HP による投稿	○	
	SNS、HP の管理	○	
	広報物の作成	○	
（3）相談支援	アクション支援	○	○ ※2
	助成金活用支援	○	
	助成金制度説明	○	
（4）新たな担い手を創出する手法		○	
（5）提言等		○	
（6）ミーティング		○	○
（7）報告書		○	

※1・・・必要に応じた助言等を行うオブザーバーとしての参加

※2・・・必要に応じて行うこととする